

議会だより



3月の
定例会

- ② 令和5年度当初予算
ふるさとの復興・再生予算可決
- ⑤ こんなことが決まりました
3月定例会
- ⑧ スバリ!! 町政を問う
2議員が質問
- ⑬ 全員協議会報告
避難指示解除に向け徹底議論!!



富岡町議会の
ホームページはこちら

お花見楽しいね! / 夜の森さくらフェスタ

令和5年度
当初予算

ふるさととの復興・再生 予算可決

《一般会計 143億円 特別会計 46億円 総予算 189億円超》

◆放課後児童クラブ事業

子どもが安心して過ごし、多様な経験ができる居場所を確保し、自助・共助の心を育んでいくため、国の指針に基づいた放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施できる施設を整備します。

<令和5年度予算額… 4億4,702万円>



小中学校の西側に建設予定

◆防火防犯パトロール事業

とみおか守り隊等による町内一円のパトロールを継続実施します。

また、復興再生拠点区域の解除に伴い、パトロール等の対策を強化します。

<令和5年度予算額… 8億8,678万円>



4月1日に行われた地域防犯出動式

◆体育施設管理事業

体育施設の管理及び令和4年3月に発生した地震により被害を受け休館となっている総合体育館について、耐震補強工事を行います。

<令和5年度予算額… 6億4,103万円>



地震により被害を受けた総合体育館

定例会の
あらまし

令和5年3月定例会は、3月9日から14日までの6日間の会期で開催しました。令和5年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、令和4年度の補正予算、条例の改廃、人事案件、議員発委など、計31件の議案を慎重に審議し、一般会計当初予算等2件においては賛成多数、その他29件においては全会一致によりすべて原案のとおり可決しました。

一般質問では2議員が登壇し、町執行部体制のあり方や今後直面する課題等について伺いました。

【令和5年度 施策の3本の柱】

- ◎ 地域経済を好循環させる農業と産業の育成
- ◎ 地域全体の賑わいを形作る帰還と移住の促進
- ◎ 自ら考え行動し、進んで楽しく学ぶ子どもを地域で育てる環境作り



【令和5年度 主な事業】

◆移住・定住推進事業

移住相談窓口や、富岡町への移住を検討する方に実際に町内での生活を体験してもらうお試し住宅の運営、サテライトオフィス運用開始に向けた整備、また、空き家を活用した住まいの確保支援事業の対象拡大のための整備・検討などを行います。

<令和5年度予算額… 2億1,371万円>



移住相談窓口「とみおかくらし情報館」
(旧 竹村写真館)

◆野菜集出荷施設整備事業

双葉郡で生産されるタマネギの乾燥、選別、貯蔵機能を有する集出荷施設を整備します。

<令和5年度予算額… 11億8,940万円>



外観イメージ

野菜集出荷施設イメージ図



新年度予算がどのように計画されているか審議し、質疑が行われました。



議員が切り込む!!
質疑応答



書店にて配られたブックカバー

問 広報発行事業費における周知拡大委託事業の内容は。(渡辺正道)

答 企画課長
書店との連携継続に加え、テレビ局との連動で富岡町の情報をゴールデンタイムに放送する計画です。

問 来年度、移住・定住促進事業委託料が増加しているが、事業の内容は。(佐藤啓憲)

答 企画課長
移住・定住の受け入れ態勢の充実や移住者応援団の設置、移住相談窓口の運営、移住イベントへの参加などを計画しています。
また、空き家を活用した住まいの確保支援事業の対象を拡大するなど、移住・定住の促進を図ると共に、町でのインターン制度やサテライトオフィスの運営など交流人口の増加を図ります。

問 旧N.T.Tのビルを利用する計画で、令和4年度末に整備が完了します。現在N.T.Tを含めた数社の利用が予定されており、賃料についてはN.T.Tとの協議で決定します。



答 企画課長
リフレ富岡跡地を活用することは重要であると考えますが、温浴施設の整備について、議論は十分されていない。温浴施設の必要性について、社会情勢や町の財政状況も踏まえた上で、検討を。(佐藤教宏)

問 コミュニティ維持・形成のための温浴施設は良いと考えるが、検討委員会での意見を活かし、しっかりと規模感の検討も行ってほしい。(渡辺二男)

答 健康づくり課長
規模感についてもバランスを考慮しながら検討し、必要な設備を段階的に整備します。

問 近隣町村にも温浴施設があり、利用割

引券等の発行をすることも可能であると考える。施設整備をせず、近隣施設を有効利用すべきでは。まずは公園等の周辺施設の中核となるような環境の整備をすべき。(渡辺正道)

問 アーカイブ・ミュージアムのイベントの委託料について、何度でも足を運んでもらえるよう、より一層内容を充実させ交流人口の増加を図ってほしい。(渡辺正道)

答 生涯学習課長
イベントについてはこれまでも体験学習などを行っています。来年度は移動水族館の計画に加え教育旅行等の誘致も進めながら、今後様々な点を考慮して魅力的なイベントを開催し、交流人口の増加を図りたい考えです。



様々なイベントが行われています(火おこし体験の様子)

人事案件

こんなことが決まりました



教育長に再任
岩崎 秀一さん

教育委員会教育長の任期満了に伴い、岩崎秀一さんを再任することに同意しました。
任期は令和5年4月1日からの3年間です。
(3月定例会) 全会一致 原案可決



岩崎 秀一さん

【いじめ防止(一部抜粋)】

私の信念である「子どもの力で町を元気にする」これを充実させていきたいと思っております。また、生涯学習においては様々なイベントを通して参加される方々の本当の笑顔を求めていく姿勢で頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

人権擁護委員として
適任である
坂本 栄司さん

人権擁護委員の任期満了に伴い、坂本栄司さんを推薦する諮問が提出され、適任であると可決しました。
任期は、令和5年7月1日からの3年間です。
(3月定例会) 賛成多数 原案可決

人権擁護委員として
適任である
高岡 英一さん

人権擁護委員の任期満了に伴い、高岡英一さんを推薦する諮問が提出され、適任であると可決しました。
任期は、令和5年7月1日からの3年間です。
(3月定例会) 全会一致 原案可決

指定管理者の指定

富岡町複合商業施設の指定管理者を指定

《指定管理者》

- 大和リース株式会社
 - 福島支店
 - 支店長 半澤 実
- (3月定例会) 全会一致 原案可決



複合商業施設(さくらモール)

富岡町社会体育施設の指定管理者を指定

《指定管理者》

- 公益社団法人
 - 富岡町さくら文化・スポーツ振興公社
 - 代表理事 堀川 章仁
- (3月定例会) 全会一致 原案可決



社会体育施設(総合体育館)

表彰

自治功労者表彰
渡辺 三男議員

令和5年2月8日に全国町村議会議長会定期総会が開催され、その席上で渡辺三男議員が自治功労者表彰を受けました。
渡辺三男議員は平成8年3月31日から町議会議員を務め、議員活動を通して地方自治の振興発展と住民福祉の向上に寄与された功績に対して贈られたものです。



表彰の伝達を受ける渡辺三男議員



定例会 審議議案一覧

令和5年第1回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆議会提出案件		
発委第1号	富岡町議会の個人情報の保護に関する条例について	全会一致 原案可決
発委第2号	富岡町議会情報公開条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
◆条例の制定及び改正案件		
議案第2号	富岡町個人情報の保護に関する法律施行条例について	全会一致 原案可決
議案第3号	富岡町個人情報保護審査会条例について	全会一致 原案可決
議案第4号	富岡町東日本大震災等による被災者に対する令和5年度の町税等の減免に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第5号	富岡町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第6号	富岡町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第7号	富岡町消防団設置に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第8号	富岡町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第9号	富岡町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第10号	富岡町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決

※第1回定例会における「令和5年度当初予算」、「人事案件」、「指定管理者の指定」、「令和4年度補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

一般会計 補正予算

基金の積立て等による増額

《19億5,572万円を増額補正》

各種事務事業の進捗状況や事務事業費の整理による減額計上と、基金積立等による増額計上により19億5,572万円の増額補正を行い、総額164億6,126万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
財政調整基金積立金	5億8,450万円増
町勢振興基金積立金	22億5,073万円増
生活支援臨時特別事業費(委託料、給付金)	2,958万円減
予防接種事業費(委託料 他)	3,055万円減
新型インフルエンザ等感染症対策事業費(委託料 他)	417万円増
環境衛生事業費(委託料 他)	1,161万円減
営農再開支援事業費(補助金 他)	1,768万円減
営農再開支援水利施設等保全事業費(工事費 他)	2,624万円減
道路維持管理事業費(委託料)	1,500万円減
住宅維持補修費(町営住宅機能回復工事 他)	2,511万円減
富岡町防火防犯パトロール事業費(委託料 他)	1億2,875万円減
その他	5億9,916万円減

議員が切り込む!! 質疑応答

【消防団設置に関する条例】

問 加入要件で町内在住に加え町内勤務者も可能となるが、近隣にお住まいで富岡町に日中通つての方も多く、夜間の対応に不安が残る。消防団の活動は、火災に限らず町内の安全安心の一助を担うことから、昼夜の消防団機能を維持するためにも抜本的な改革が必要では。(遠藤一善)

答 生活環境課長
加入における地域要件の緩和に加え、町内在住の消防団OBの方などによる、機能別団員制度の導入や、住民ひとりひとりの防災意識の向上による安全確保につなげたい考えです。

問 地域の水利を把握し広域消防との連携を図る等、消防団には様々な役割がある。現在は満65歳までという制限があるが、前線に出るばかりではないことから、年齢要件の見直し検討を。(渡辺三男)

答 生活環境課長
消防団OBの豊富な知識と経験は今後も必要になると考えています。機能別団員としてご活躍いただくことも念頭に、年齢要件の見直しについて検討します。

議員が切り込む!! 質疑応答

【一般会計補正予算】

問 有害鳥獣捕獲奨励金の減額について、町内で捕獲された有害鳥獣の頭数の推移は。(遠藤一善)

答 産業振興課長
町実施の捕獲に関して、イノシシは前年度比92頭減少の14頭、ハクビシンやタヌキ等の小動物は9頭増加の74頭です。小動物増加の要因は、家屋解体が進んだことにより住処をなくしたことで捕獲が進んだと推測しています。

問 令和4年度及び令和5年度の新型コロナウイルスの接種に関する計画は。(宇佐神幸)

答 健康づくり課長
令和4年度の接種機会はほぼ終了していると考えています。令和5年度について、現在国からは秋以降に全国民を対象に1回接種。それに先立って高齢者や重症化リスクのある方へ春から夏に向けて1回接種と示されています。詳細が決まれば速やかに接種できるよう準備を整えているところです。

畑などを荒らすイノシシ



佐藤 啓憲 議員

問 夜の森地区復興の重要施策は

答 「新たなにぎわいづくり」を推し進めます

問 今春の避難指示解除が夜の森地区復興のスタートになると思うが、昨年実施された町政懇談会等の意見を基に、今後町としての重要施策は何か。

答 町長 町政懇談会等において、更なる生活環境の整備などのご意見を伺っており、「くらしの再生」「新たなにぎわいづくり」「健康づくり」を推し進め、買い物環境の整備と温浴施設や都市公園の整備を併せて行います。



整備計画が進められるリフレ富岡跡地

問 健康づくり課長 年内に基本計画を確定し、その後実施設計から建築となり、現在の目標としては令和7年度の早い時期に開館を目指します。

答 町長 町民からは温浴施設の維持コストを懸念する声が多い。新しい発想で、昨今のエネルギー価格上昇を踏まえたエネルギーの地産地消の設備設計と、ランニングコストの緩和策を検討すべきである。10年後20年後の財政を見据え、しっかりと町民や議会が納得するものを要望する。

問 健康づくり課長 将来的な財政を見据えた整備は非常に重要であると考えます。しっかりと収支の計画を立て、町の持ち出しが最小限となるように、基本計画の段階から取り組んでいきます。

問 1月に県内において、夜間、信号機のない交差点で車同士が衝突し、家族4人が死亡するという悲しい事故があった。特定復興再生拠点区域内の避難指示が解除されるに当たり、今後町内の交通量増加が予想される。現状、道路の白線や停止線が消えている箇所が散見されるが、道路の安全管理は。

答 町長 白線や停止線が消えている箇所等の確認を進め、早急に必要な対策を講じ、関係機関との情報共有や連携を図り、道路の環境整備に努めます。

問 危険箇所の抽出やカーブミラーの設置状況について、住民からの通報や警備会社のパトロール等、地域の声を受けて警察と連携した取り組みを要望する。

答 町長 危険箇所の抽出やカーブミラーの設置状況については、住民からの通報や警備会社のパトロール等、地域の声を受けて警察と連携した取り組みを要望する。

問 生活環境課長 カブミラーについて、令和4年度は解除済み区域での新設・修繕5件、拠点区域内は2件の修繕を行っています。来年度も要望があり次第、現地を確認し修繕あるいは新設を協議していきます。



中央線を引き直すなどの改善が進んでいます

問 来年度の当初予算において、道路維持管理費は3億7千万円ほど計上されているが、暮らしの安全に関わる予算は最優先なものだと考える。道路補修に限らず、安全安心に関わる部分は十分な予算配分を要望する。

答 町長 早急に整備するとともに、安全、安心に係る予算ですので、しっかりと計上します。

問 町内道路の維持・安全管理は

答 関係機関と連携し安全安心な道路環境を整備

問 このほど福島県広域サイクリングルートが設定された。当町においても健康づくりと観光を連動した交流人口増加を見込む施策につながるかと考えるが、町の構想は。

答 町長 当町のルートは富岡駅を起点として北は大熊町の大河原地区へ、南は浜街道を檜葉町、広野町へつながるサイクリングルートとなっています。

当町の魅力である美しい海岸線や、夜の森の桜並木はもとより地域の資源を活かした、レンタル自転車や良好な通行環境の維持に努め誘客を図ります。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!!

町政を問う



2議員が質問

3月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 佐藤 啓憲 議員 9

- 夜の森地区復興の重要施策は
- 町内道路の維持・安全管理は



2 高野 匠美 議員 10

- 空き地等の管理対応と解決策は
- 保健センターの活用について



山本 育男 町長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから

原子力等 特別委員会

【情報発信方法の更なる検討を】



安藤正純議員

ALPS処理水への理解醸成のためには、一方的に情報を発信するだけでなく、相手からの疑問に答えるような双方向の発信方法が必要であると考えている。

発信した情報でのやりとりや、受け取る側の意見等をしっかり見据えていくことが課題と認識しています。一方的にならぬよう対話を重ねてまいります。



東京電力HD(株)

【情報発信への反響は】



東京電力HD(株)

JR東京駅中央通路の電子壁に掲載したALPS処理水に関する広告に対して、反響や意見はあったのか。

掲載期間が2月19日までだったこともあり、本日(3月3日)の時点では詳細な集約はできていません。今後は集約した意見を反映し、改善させながら東京駅に限らず引き続き広告掲載等を継続していく考えです。



高野匠美議員

【デブリの調査・分析について】



遠藤一善議員

昨年12月に実施した1号機原子炉格納容器の堆積物デブリ検知調査により広い範囲に存在すると検出された微粒子状の物質の想定と、今後の計画は。

溶けた燃料が固まる際に分離したもので、燃料デブリに由来するものであろうと推測しています。今後は、サンプリング調査で採取した堆積物を詳細に分析し、環境に影響を及ぼさないことを前提に堆積物の回収方法を検討していきます。



東京電力HD(株)

更なる議論!

中間指針第五次追補決定を踏まえた追加の賠償基準の概要について東京電力(株)から説明を受けました。

問 今後もしっかりやすすい説明や個々への配慮に努めてもらいたい。
答 東京電力 丁寧な対応に努めるよう、社員一丸となって対応します。

問 担当者によって対応に差がないよう、既に教育等進めています。
答 東京電力 担当者によって対応に差がないよう、既に教育等進めています。

問 担当者によって対応が変わることのないように要望。
答 東京電力 漏れがないよう社員教育により対応力向上に努めるとともに、能動的に働きかけることも必要と考えています。

問 状況によって金額が変わる項目については、請求漏れが発生しないよう、丁寧な対応を。
答 東京電力 避難履歴等、これまでの請求でいただき保有している情報を確認するなど、極力ご負担をかけないよう努めます。

問 請求のための関係資料について、柔軟な対応を。
答 東京電力 避難履歴等、これまでの請求でいただき保有している情報を確認するなど、極力ご負担をかけないよう努めます。

問 空き地等の管理対応と解決策は

答 従来の粒剤型に加え、液剤型も配布



高野匠美議員

問 空き地等の管理の適正について、今後の対応、施策はあるのか。

答 町長 除草剤について、来年度からは土壌に撒く従来の粒剤型と液剤型を合わせた3個を配布予定です。また、新たに乗用タイプの草刈り機を購入し、貸し出します。

問 貸し出しの条件について、費用や使用の際の保険、補償は。

答 生活環境課長 貸し出しは無償で、保険等につきましては今後の運用までに協議します。



管理の難しさが課題



者など、自宅跡地の管理が難しくなっている方々へ、防草シート等の補助についての考えは。

答 生活環境課長 費用面や耐久性から考えて、防草シートよりも除草剤での維持管理が効果的です。近隣の方が代わりに申請し、散布をしていただくことも可能です。

問 空き地の雑草に関する苦情などは、連絡を受けてから職員が現地を見て所有者に連絡や通知をするのか。それとも、日常的に担当者自ら町内を巡回点検をして報告や対処をしているのか。

答 生活環境課長 個人のお宅の土地については、町職員であっても勝手に入ることはできません。町民の方からお電話や書面等で草木の管理についての要望があった際に職員が現地に向かい、確認した上で対応をしています。

問 保健センターの活用について

答 栄養士による指導や離乳食教室等の実施も検討

問 保健センターの活用について、どの様な方を対象にするのか。

答 町長 高齢者対象の栄養指導や健康事業などにも活用したい考えです。今後は栄養士による栄養指導や離乳食教室の実施なども検討しています。

問 一歳未満のお子さんを持つ方や、ここにこども園等へ入園するまでの間の年齢は非常に重要であり、お友達や相談できる相手があるか。

答 健康づくり課長 保護者同士のコミュニティは子育てをしていく中で重要と考えています。今後は要望もお聞きしつつ、各種教室等の要望があれば、保健師や栄養士の話も含め機会を設けられるよう進めたい考えです。

妊産婦さんを対象とした車座集いも開催されました



総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 〔所管課〕
- 総務課
- 企画課
- 税務課
- 出納室
- 住民課
- 教育総務課
- 生涯学習課
- 議会事務局



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜ふるさと納税について＞

Q 現在、返礼品はどのようなものがあるのか。

A 富岡町産の米「天のつぶ」や、100%富岡町産の米で造られた酒「天の希」など富岡町に縁のある様々な返礼品があります。



詳しくはホームページに掲載されてるっぴ♪



【総務課】

＜基金の内容について＞

Q 町勢振興基金はどのような事業に活用されているか。

A 社会福祉協議会や観光協会運営費、小中学校・こども園の給食費など、国県補助金の対象とならない町単独事業で活用します。

【総務課】

＜移住促進のための事業は＞

Q 移住・定住促進事業委託料が来年度増額されているが、今年度との違いと交流関係人口増加のための取組について伺いたい。

A 今年度「戸建て住宅」のみを補助の対象として開始した住まいの確保支援に関し、来年度は「アパート等の集合住宅」も対象とすることで、一層、移住者を呼び込みやすい環境となるよう整備する考えです。

また、移住後のミスマッチや孤独を防ぐため、移住サポーター制度を創設して移住者が相談しやすい環境を整えるとともに、交流会を開催するなど、新しく町民になられた方を温かく迎え入れる町づくりに努めます。

その他、交流・関係人口の拡大に向けた取り組みとして、インターンプログラムの実施によりターゲットを学生に絞ったアプローチを行うことや、サテライトオフィスの運営により新たな企業等との関係性を構築することなどを予定しています。

【企画課】

＜一時保育の利用について＞

Q こども園で行っている1歳6ヶ月から就学前の児童の一時保育について、利用申し込みは当日でも可能か。また、利用時間の制限はあるのか。

A 給食やおやつの準備があるため3日前までの申し込みとなっており、原則当日の受付はしていませんが、事情によっては柔軟に対応できるようにしたいと考えています。また、利用時間については、開設時間内であれば制限はありません。

【一時保育とは】

保護者の傷病や子ども同伴が認められない行事の参加等により家庭における児童の保育が困難になる時や保護者の心理的、肉体的負担の軽減のために、認定こども園において一時的に保育を行うもの。

- ・対象者 1歳6ヶ月～就学前の児童
- ・開設時間 平日の午前8時30分～午後5時
- ・利用者数 1日あたり3名以内

にこここども園のホームページができたっぴ♪



【教育総務課】

＜アーカイブ・ミュージアムの今後の運営方針は＞

Q 定期的開催している事業について、今後の計画は。また、富岡町内における文化財の調査も必要では。

A 定期的な事業として、年間2回の大きな企画展示と3回～4回程度の小規模な展示を計画しています。文化財につきまして、町内の館跡(たてあと)概要調査等を行っており、今後は小良ヶ浜地区に関する分布調査を計画しています。



小浜西館跡

【生涯学習課】

＜基金の内容について＞

Q 文化スポーツ振興基金はどのような事業に活用されているか。

A 感染症予防のため中止となった事業や、6大学応援合戦の継続といった自主事業の財源や、ふれあいカレンダーの作成、図書の購入等に活用します。

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 産業振興課
- 都市整備課
- 農業委員会
- 生活環境課
- いわき支所
- 郡山支所
- 福祉課
- 健康づくり課

【所管課】



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜夜の森公園について＞

Q 桜まつりまでに夜の森公園の整備は完了するのか。また、供用後のトイレの管理については。

A 3月末で工事が完了し、4月から使用可能となる予定です。多目的スペース(旧野球場)については芝の成長を妨げないよう、当面の間は立入不可となります。また、町内にある公園のトイレ管理は現在もシルバー人材センターに委託しており、夜の森公園についても同様に考えています。

【都市整備課】

＜来年度の公園整備の予定は＞

Q 当初予算における公園事業費について、令和5年度の予定は。

A 令和5年度の公園整備については、夜の森つつみ公園と岡内中央児童公園の2箇所を計画しています。



令和5年度に整備が予定されている夜の森つつみ公園(左)と岡内中央児童公園(右)

【都市整備課】

＜既存事業者との調整は＞

Q 夜の森地区に民間の訪問介護・訪問看護一体型事業所が開設されるにあたり、既存の福祉事業者との調整は。

A 利用者ニーズに合わせてのサービス提供となり、それぞれケアマネージャーが適切に調整します。また、新規事業者は24時間体制での訪問介護や医療サービスを提供できることから、夜の森地区の福祉サービスの充実に大きく寄与することと考えています。



【福祉課】

＜観光協会の運営について＞

Q 現在平日のみとなっている観光協会について、休日の運営の予定は。

A 令和5年度から従来の月曜日から金曜日に加え、日曜日にも運営する考えです。また、曜日に関わらずイベント時には対応してもらうよう進めていきます。今後については、利用者数を見ながら検討します。



富岡駅隣接の観光協会

【産業振興課】

＜除草剤の配布について＞

Q 1年度の間1世帯で3個を上限に配布している除草剤について、令和5年度からこれまでの粒剤に加え液状の除草剤の配布もあるとのことだが、散布機が必要になるのか。また、配布数量は。

A 液状の除草剤についても、散布機を使わず散布が可能なものになります。配布個数の上限は3個で変わりませんが、配分として粒剤を2個、液剤を1個としています。なお、従来と同じ粒剤3個での希望があれば対応可能です。

【生活環境課】

＜地域防災について＞

Q 関東や県内でも組織的犯罪の強盗傷害事件が報道されている。防犯カメラ事業では、カメラの箇所や個数など、警察署と連携をとっているのか。

A 防犯カメラについては、警察署とそのつど設置箇所等の協議を一緒に進めています。また、警察署へのデータ提供なども行っており、地域防犯のための連携はしっかりとなされています。



防犯や交通安全の意識を高める啓発



設置中の防犯カメラ

【生活環境課】

避難指示解除に向け徹底議論!!

議会は解除時期を町に一任

3月3日開催

2月13日開催

◆特定復興再生拠点区域の避難指示解除について

(企画課・産業振興課・生活環境課・内閣府・環境省・福島県 他)

問 森林のフォローアップ除染に関して、表土の剥ぎ取りの深さや腐葉土の撤去、木の伐採など、やれる限りのことを。(安藤止純)

答 環境省
ひとつひとつの状況を見ながら、最も効果的に線量を低減できる方法を考え、皆さまと相談しながら全力で取り組みます。

問 解除後にフォローアップ除染が足りないという状況にならないよう、引き続き年間1ミリシーベルトを目指す除染を要望する。(佐藤教宏)

答 環境省
解除後もフォローアップ除染で更なる線量低減を目指します。

問 避難指示解除には住民帰還が先決だが、事業所において業務ができないければ人が戻らない状況が続く。企業向けの物流対策は。(遠藤一善)

答 環境省
事後モニタリングを広範囲に実施し全体の状況を確認して、影響が及ぶ可能性のある生活圏の箇所に関してはフォローアップ除染をすることを考えています。

問 平成29年解除時から出されている森林の低減率の向上のため除染範囲20メートルから広げる要望への検討は。(堀本典明)

答 環境省
除染検証委員会の指摘も頭に置きつつ、引き続き現場の状況に応じた柔軟な手法を選択していきます。

問 帰還に不安がある方や未同意者の把握及び対応を。(渡辺正道)

答 生活環境課
確認した上で環境省と協議します。

問 企業課
大手事業者を確認しましたが、特に当町よりも北に行き届かない厳しい状況です。国から物流業界に対して双葉郡全体の強化を求めるなど、これまでの取り組みを継続します。

答 内閣府
国としても事業所向けの配送について粘り強く話を継続しているところであります。町や県と共に、事業再開に向けてしっかりと働きかけをしていきます。

問 避難指示解除はスタートラインである。引き続き前に進むための支援を要望する。(堀本典明)

答 内閣府
新しいことにチャレンジするにあたり様々な課題が出てくることも承知しています。そのつど町とも連携して、ひとつひとつ解決していくことが大事だと思っています。政府一丸となって支援を継続します。

◆富岡町除染検証委員会の除染検証報告について

(生活環境課・企画課・産業振興課・内閣府・環境省・福島県 他)

問 森林除染のフォローアップについて、生活圏に影響を与える場合はしっかりと原因を追求して除染すべきと考えるが。(安藤止純)

答 環境省
より線量の高い箇所から順次フォローアップ除染を進めており、これまでも同様、ひとつひとつ状況を見て丁寧に進めていきます。

問 森林の線量低減率が低いのは除染手法に問題があるのではないかと。(遠藤一善)

答 環境省
土砂の流出防止や森林機能の維持などに考慮しつつ、現場の状況をよく把握して効果的な手法を選択できるような取り組みをします。

問 森林のフォローアップ除染で、低線量地区に雨水などにより線量の高い水が流入した場合、広範囲に除染する考えはあるか。(宇佐神幸一)

答 環境省
事後モニタリングを広範囲に実施し全体の状況を確認して、影響が及ぶ可能性のある生活圏の箇所に関してはフォローアップ除染をすることを考えています。

問 平成29年解除時から出されている森林の低減率の向上のため除染範囲20メートルから広げる要望への検討は。(堀本典明)

答 環境省
除染検証委員会の指摘も頭に置きつつ、引き続き現場の状況に応じた柔軟な手法を選択していきます。

問 帰還に不安がある方や未同意者の把握及び対応を。(渡辺正道)

答 生活環境課
確認した上で環境省と協議します。

帰還を望む町民のため、国へ更なる要望!!

問 解除後のフォローアップ除染や支援の継続はもちろんのこと、一日も早い小良ヶ浜・深谷地区の除染終了へ向けて本腰をいれるよう要望する。(佐藤教宏)

答 環境省
年間積算線量の更なる低減を図り、帰還する方の周辺の確実な除染を要望する。

問 フォローアップ除染の継続、やり残した各種事業や解体除染に関わる事業など、国は誠意を持って必ず継続して実行してもらおうと要望する。(渡辺正道)

答 内閣府
解除にあたり、これまでで約束したことはしっかりと守ることを要望する。(高野匠美)

帰還したい人は一日でも早く正式に帰りたいと



これまでの審議を経て、解除に向けた国・県・町による三者協議が3月10日に行われました。

問 解除後のフォローアップ除染や支援の継続はもちろんのこと、一日も早い小良ヶ浜・深谷地区の除染終了へ向けて本腰をいれるよう要望する。(佐藤教宏)

答 環境省
年間積算線量の更なる低減を図り、帰還する方の周辺の確実な除染を要望する。

問 フォローアップ除染の継続、やり残した各種事業や解体除染に関わる事業など、国は誠意を持って必ず継続して実行してもらおうと要望する。(渡辺正道)

答 内閣府
解除にあたり、これまでで約束したことはしっかりと守ることを要望する。(高野匠美)

帰還したい人は一日でも早く正式に帰りたいと

今後、富岡町に帰りたい人や住みたいと思ってる人の希望をつぶさぬように。(宇佐神幸一)

帰りたい人がいる以上は、帰りたい人優先であるべき。国道6号東側、小良ヶ浜・深谷地区もいち早く除染を。(渡辺三男)

◆特定復興再生拠点区域の避難指示解除に向けた取組について

(企画課・総務課・内閣府・環境省・福島県 他)

問 すでに解除されている区域も含め、追加被曝線量年間1ミリシーベルトを目指すための取組は。(佐藤教宏)

答 環境省
生活圏での線量率低下につながる取り組みをしっかりと進めることが重要と考えており、今後もモニタリングをしつつ様々な指摘やご不安に対して丁寧に対応していきます。

問 内閣府
安心して住んでもらえる環境を政府としてもしっかりと、町・県共に進めます。

問 宅配に関して、宅配ロボットで荷物を24時間都合のいいタイミングで受け取りや発送することができるとドーステーションの設置を協議中とあるが、進捗と詳細は。(佐藤啓憲)

答 企画課
現時点では町内1箇所の設置に向けて協議中です。既に解除となっている区域でも時間指定ができないなどの不便があり、宅配事業者と受け取る町民の双方の負担軽減、更には解除済み区域の生活関連の充実にもつながりますので、なるべく早期の設置に向けて協議を継続します。

問 エレベーターのない町営住宅新田団地に、高齢者の入居希望があった場合、1階にするなどの配慮は。(高野匠美)

答 総務課
1階両端にはスロープ付き車いす対応の部屋もあります。入居の際に事情をお聞きして適切に対応します。



シリーズ 復興へのあゆみ Step. 28

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは「富岡町が今どうなっているのかわからない」という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2023. 3.11 東日本大震災慰霊碑除幕式

東日本大震災及び避難生活の中でお亡くなりになられた方々への慰霊と災害教訓の伝承のために慰霊碑が建立され、慰霊祭と同日に除幕式が開催されました。



2023. 2.13 野菜集出荷施設安全祈願祭

双葉郡で生産されるタマネギの乾燥、選別、貯蔵機能を有する集出荷施設建設工事のため安全祈願祭が行われました。



2023. 4. 1 避難指示解除に係る地域防犯出動式、記念セレモニー及び夜の森さくらフェスタ

満開の桜の下、特定復興再生拠点区域の避難指示解除に伴う地域防犯出動式、記念セレモニー及び夜の森さくらフェスタが開催されました。



2023. 2.20 サケ稚魚放流

サケふ化施設において育てられたサケの稚魚、約22万匹が富岡川に放流されました。(写真は放流前2月8日時点の稚魚です。)



富岡小中学校において行われているPinS(プロフェッショナル・イン・スクール)プロジェクトにおいて、令和4年度 校内に設置されたスペース(一部)です。子ども達が宿題をしたり、自由に過ごせるスペースになっています。

2023. 2.26 浜街道(毛萱工区)開通式

一般県道広野小高線浜街道(毛萱工区)の開通式が行われました。





ご卒業・ご卒園
おめでとうございます



ご入学・ご入園

議会を傍聴しませんか？

- 6月定例会は、15日(木)～16日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されてからの初めての「桜まつり」は、2日間を通して約1万1千人という多くの方に足を運んでいただきました。

その際、桜はあいにく散ってしまいました。4月1日の避難指示解除日は桜が満開でした。まるで私たちが「おかえり」と迎えてくれていたようでした。これからも一歩一歩、前へ進んでいきましょう。

議会報は、より多くの情報や皆さまの貴重なご意見をお聞きしつつ、これからも前進してまいります。皆さまにできるだけ分かりやすく、親しみある誌面にしていきたいと思っていますので、今後共どうぞよろしく願っています。

(高野 匠美)

発行責任者

議長 高橋 実

議会広報特別委員会

委員長 高野 匠美

副委員長 佐藤 啓憲

委員 佐藤 教宏

委員 堀本 典明

FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

